

# 外食、宅配サービスに活路

## 新型コロナ

## 緊急事態宣言

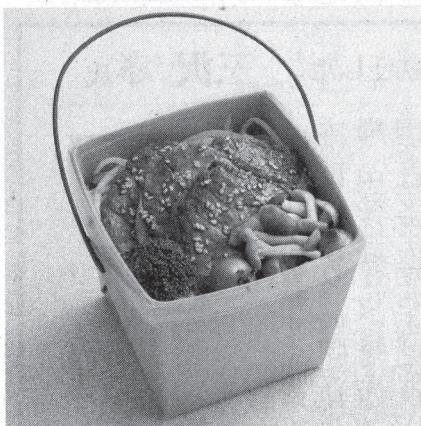
社長は2020年2月開催する春番屋の葛原守期決算会見で、こう強調した。新型コロナによる外出自粛を受け、特に宅配サービス「ウーバーイーツ」や「出前館」経由で弁当販売が増えたという。若鯨家は、つばめ自動車（名古屋市中区）

新型コロナウイルス感染拡大に伴う「東京五輪」需要拡大を受け、愛知県の外食業界が宅配サービスを強化している。カレーうどんの若鱈家（名古屋市北区）は、タクシー会社と組んで期間限定で始めた宅配サービスの終了時期を延長。名古屋を代表する老舗高級ホテルも料理の宅配に乗り出した。愛知県でも休業要請の緩和が始まつたが、外食各社の「ウイズ中食」戦略は継続そうだ。（名古屋・浜田ひかる）

「巣ごもり」需要で販売増 愛知県内

など「ヘルシタマジ」  
「グループ」と協業し  
「名物カレーうどん」  
などの宅配サービスを  
期間限定で実施。当初  
5月13日までを予定し  
て受け付けていたが、  
「対応店舗を増やす」  
(担当者) 予定だ。  
一方、いすれも興和  
(名古屋市中区) 傘下  
で、名古屋を代表する

老舗ホテル「名古屋観光ホテル」（同）と「ホテルナゴヤキャッスル」（名古屋市西区）は、共同で5月から弁当などの宅配サービス「シェフズキッチン」を始めた。「牛フイレ肉ステーキ弁当」（消費税込みの価格は1800円）など、両ホテルのシェフがつくる弁当などを宅配する。「お客様に届けるまでホテルクオリティーを保つ」（担当者）とホテルマンが自宅に届けることもアピールポイントとする。愛知県も独自の緊急事態宣言に伴う休業要請の緩和を進めていく。ただ正面「ワイズコロナ」での経済活動が続くとされる中、外食各社の中食事業の位置付けが変化する可能性もある。



名古屋観光ホテルが始めた宅配サービスの「牛フィレ肉ステーキ弁当」